

# プロパン・ブタン・ニュース

発行所 石油化学新聞社  
 本社：東京都千代田区岩本町2丁目4番10号  
 電話03(5833)8840 M103(5833)8841  
 URL：http://www.sekiyukagaku.co.jp  
 E-mail：lpg@sekiyukagaku.co.jp  
 振替東京00180-6-37963  
 支社・局：札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡

©石油化学新聞社2017年 (昭和130年6月8日第3種郵便物認可) 週刊・毎月隔日発行  
 購読料/年間93,696円(本体31,200円+消費税2,496円)・6カ月16,848円(本体15,600円+消費税1,248円)

2017年(平成29年)

## 感謝祭で触れ合い強化

### 寸劇でこころ訴求 藤本産業

藤本産業(本社・大東市、藤本和俊社長)は11月19日、大東営業センターで「フジモト秋の感謝祭」を開いた。412組の1千万円を超えた。



「みんなの笑顔を創造する」を目的にした感謝祭の目玉は、奈良真明日香村産の棚田米や新鮮な野菜などが並び「ふじもと」寸劇でガスをPRする「ふじもと劇場」や「写真」など。売り上げ金額を市に寄付するフリーマーケットを初めて実施した。



和歌山県LPガス協会和歌山市支部(山下純生支部長)は3日、和歌山市の中央卸売市場で開かれた第13回市場まつり(和歌山市中央卸売協会 競りの体験会などを行う)に「市場まつり」下支え 和歌山市支部(主催)に参加し、全面協力した。鍋料理販売などの屋台に、機器メーカー各社の協力の「エコ」を貸し出し、下、給湯器やビルトインコンロ、ガスファンヒーターをPRし、低圧LPガス発電機やFRP容器を展示した。エコと運営

### 「芋の展示会」浸透 マイナス



初導入した芋引きゲーム。あらゆる時代に感謝祭の定着を図る

マインドガス(本社・高知市、山田洋介社長)は11月23日、本社隣接の特設会場で「大感謝祭」を開いた。960世帯を対象に実施し208組・384人が来場した。「芋の展示会」として定着を図る感謝祭は6回目。今回は「ありがとうの想いも込めて」をテーマとした。大勢の来場を

見込み、今年は会場をガス機器展示や芋引きゲーム、焼きイモの振る舞いなどを行うメイン会場と、道路を挟み抽選会などを行う第2会場に分けて動線を効率化。抽選会の前には山田社長がテレビショッピングを模して包丁売りを行った。メイン会場は透明のテントを張って開放感を高めた。来場記念品は恒例の宝くじ1枚。下4ケタ数字で抽選した。ガスこころをグレード別に並べ、価格と機能差を分かりやすく説明したパネルや担当者のお勧め商品を手作りPOP広告で説明する。配事業を紹介した。

付するフリーマーケットを初めて実施した。ふじもと劇場は中野強氏が座長となり有志6人が参加、15分間芝居した。酔っ払いながら上司を連れて帰宅する夫と主婦の話。夜遅く帰った夫つまみを作るように言われて怒る主婦の困り事を最新ガスこころが解決する。劇中で鮭ときこの野菜類をホイルに包んで調理するだけの簡単レシピを紹介。グリルの利便性を訴求した。「台本は日ごろの営業活動で出てくるお客さまとの会話や逸話を応用し

燃転や増改築促進 大丸大阪 大丸エナウイン大阪支店(前田友彦支店長)は11月25日、岸和田市の浪切ホールで「第5回ぼまつり」写真展を開催した。409人が来場した。LPガスと宅配水の顧客を対象を絞り、岸和田市に会場を戻した。開放的な空間に住設機器を多数展示。ガスこころや給湯器のほか、システムキッチン2セット、ユニットバス3セット、灯油からの燃転でハイブリッド給湯器1台を販売した。リフォーム需要

